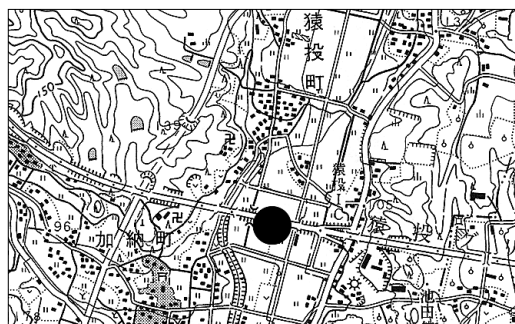


うえの だん
上ノ段遺跡

所在地 豊田市加納町字上ノ段地内
 調査理由 猿投グリーンロード建設
 調査期間 平成 11 年 6 月～7 月
 調査面積 250 m²
 担当者 佐藤公保・花井 伸・鈴木正貴

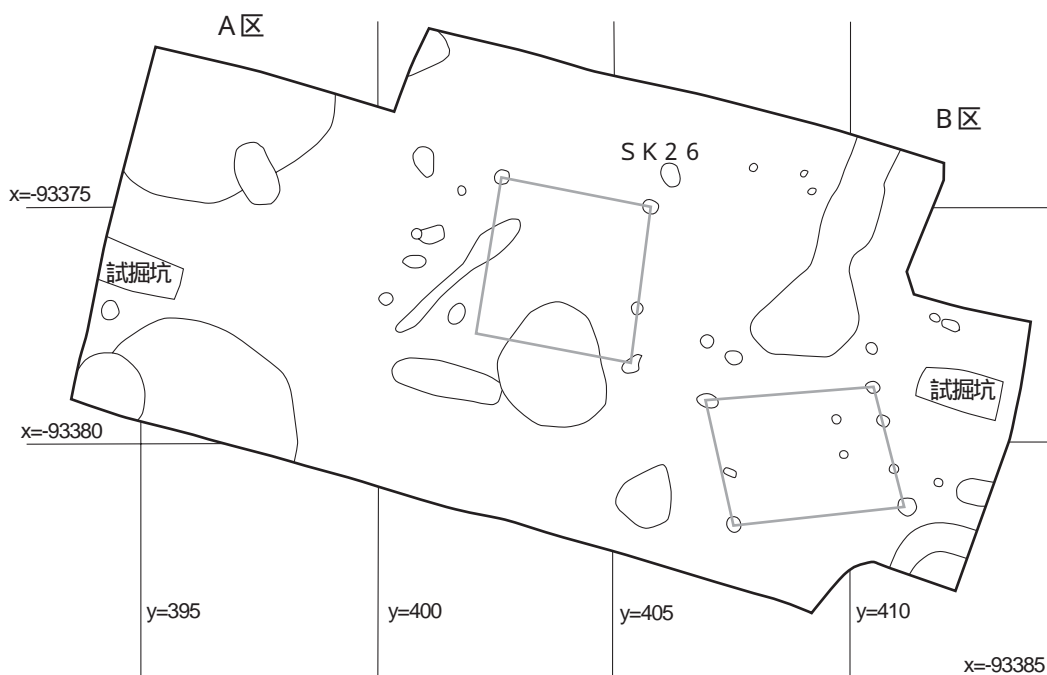


調査地点 (1/2.5 万「豊田北部」)

調査の経過 調査は猿投グリーンロード拡幅に伴う事前調査として、愛知県道路公社より愛知県教育委員会を通じた委託事業として実施した。調査期間は平成 11 年 6 月から平成 11 年 7 月までで、面積は 250 m²である。調査は便宜上 A・B 区に分けて行った。

立地と環境 上ノ段遺跡は猿投川に開析された狭長な谷底平野のほぼ中央段丘低位面の微高地上に立地する。標高は約 94 m を測る。調査地点の南には昭和 46 年に調査された上ノ段古墳が所在する他、付近には池田古墳群、藤山古墳群などの猿投川上流域古墳群が形成されている。また、この微高地上には、縄文時代の神郷下遺跡や弥生時代から古墳時代の亀首本郷遺跡などが所在する。

調査の概要 調査の結果、耕地整理に伴うと思われる整地土とわずかに残存した黒色遺物包含層が確認され、そこから古墳時代から江戸時代までの遺物が約 400 点出土した。黒色包含層直下の遺構面で奈良時代の掘立柱建物 2 棟や時期不明の土坑などが検出された。土坑 S K 26 から 8 世紀の須恵器杯身が 1 点出土した。なお、上ノ段古墳に関わる時期の遺構は確認することができなかった。
 (鈴木正貴)



上ノ段遺跡遺構図 (1 : 160)